

2 子どもデイケア事業

不登校、ひきこもり、発達障害等社会生活に不応を起し、精神医学的な関わりが必要な児童生徒に対し、集団の場面において、医療・教育・福祉的側面からの専門的なケアを行った。

○ 子どもデイケア事業実績

151日開設、登録児童生徒数は26人で、通所実人数は23人、通所延べ人数は667人であった。

① 登録児童生徒の概要

○ 学年

単位：人

小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
0	0	0	2	0	4	7	5	8

○ 性別

男	女
12人	14人

○ 居住地（管轄保健所）

単位：人

仙台市	仙南	塩釜	岩沼	黒川	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼
4	3	1	15	1	1	0	1	0	0

○ 主たる診断名

単位：人

広汎性 発達障害	適応障害	身体表現性 障害	多動性障害	情緒障害	不安障害	外傷後 ストレス障害	知的障害
10	3	3	3	3	2	1	1

○ 年次推移

単位：人

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
登録児童生徒数	12	19	15	8	16	22	20	20	22	24	29	26
通所延べ人数	856	598	147	244	392	833	1,065	1,178	993	968	794	667

○ 終了者転帰

単位：人

通学継続	進学	在宅	県外転出
3	7	2	0

② 家族支援

○ 保護者面接 延べ68回

○ 登録者面接 延べ61回

○ 家族のつどい

家族の孤立感及び不安の軽減を図るとともに、家族が子どもの特性の理解を深め、子どもへの対応を振り返ることができるよう家族支援の一環として開催した。

実施日	令和2年12月9日(水)
対象者	子どもデイケア登録者の保護者
内容	・講話「発達凸凹について」 ・活動報告 ・懇談
参加者	5人

③ 進路学習会

中学卒業後の進路について情報提供することにより、進路に対する不安の軽減を図るとともに、登録児童生徒が自分にとって望ましい進路を選択していくための一助として開催した。

実施日	令和2年7月21日(火)
対象者	子どもデイケア登録者及び保護者
内容	・講話「中学卒業後の進路について」 ・質疑応答 ・懇談
参加者	登録者4人 保護者7人

④ 先輩の話を聞く会

子どもデイケア終了者の話を聞くことで、中学卒業後の生活について具体的なイメージができ、不安の軽減を図るとともに、登録児童生徒が自分にとって望ましい進路を選択していくための一助として開催した。

実施日	令和2年8月4日(火)
対象者	子どもデイケア登録者
内容	・先輩の体験談を聞く ・質疑応答・懇談 ・レクリエーション
参加者	4人

⑤ 関係機関との連携

学校訪問の実施、関係機関への連絡等を通して登録児童生徒への支援の充実を図った。

○ 学校訪問 12校

⑥ 子どもデイケアフォローアップ

子どもデイケア終了者（おおむね16歳から18歳までの者）に対して，終了後も継続して集まる場を提供することにより，地域社会とのつながりを維持し，安心した生活ができるよう開催した。

実施日	① 令和2年 8 月 19日（水） ② 令和2年 11月 25日（水）
対象者	子どもデイケア終了者
内 容	・グループワーク ・フリートーク ・レクリエーション
参加者	① 5人 ② 8人